

運用課題を解決する！ 導入後に後悔しないSASE製品の選び方

2024年9月20日

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

DXセキュリティプラットフォーム事業本部

クラウドセキュリティ事業部

オプティマイズグループ

目次

1.NRIセキュア会社紹介

2.セキュリティ製品運用でよく頂くお悩み・ご相談

3.SASE製品を選ぶポイント

4.弊社支援サービスのご紹介

1.NRIセキュア会社紹介

1.NRIセキュア会社紹介 会社情報

(2024年4月現在)

野村総合研究所（NRI）グループにおける情報セキュリティ専門の中核企業

社名	NRIセキュアテクノロジーズ株式会社（略称：NRIセキュア）		
会社所在地	本社	：東京都千代田区大手町 東京サンケイビル	
	横浜ベイオフィス	：神奈川県横浜市神奈川区 横浜ダイヤビルディング	
	サイバーセキュリティハブ大阪	：大阪府大阪市北区 中之島フェスティバルタワー・ウエスト	
	北米支社	：米国カリフォルニア州アーバイン	
設立年月日	2000年8月1日 ※サービス提供開始：1995年		
資本金	4.5億円		
株主	株式会社野村総合研究所		
取締役会長	大元 成和		
代表取締役社長	建脇 俊一		
専務取締役	池田 泰徳	常務取締役	西内 喜一
取締役	小林 賢治、武田 則幸、山口 隆夫、能勢 幸嗣	監査役	坂田 太久仁
社員数	連結：813名、単体：697名		
NRIセキュアグループ会社	株式会社ユービーセキュア	：東京都中央区	
	株式会社NDIAS	：東京都港区	
提供実績	官公庁、金融機関、流通、製造、製薬、通信、マスコミ など		
認証取得	ISO/IEC 27001認証取得		



1.NRIセキュア会社紹介

サービス・製品提供体制

社会やニーズの変化、技術動向に応じたサービス・製品を4つのコア事業で提供

戦略ITイノベーションと研究開発

戦略ITイノベーション



政策動向やマーケットニーズの洞察によるソリューション創発

研究開発センター



先進技術の探索・評価、およびサービス開発の推進・統括

4コア事業

コンサルティング



顧客密着型の問題解決支援

ストラテジーコンサルティング事業本部
マネジメントコンサルティング事業本部
サイバーコンサルティング事業本部

DXセキュリティ



デジタルトランスフォーメーション
をセキュリティで支援

DXセキュリティコンサルティング事業本部
DXセキュリティプラットフォーム事業本部

マネージド
セキュリティサービス



24時間365日の
セキュリティ監視サービス

マネージドセキュリティサービス事業本部
マネージドセキュリティサービス開発本部

ソフトウェア



日本市場に合わせた自社開発の
セキュリティソリューション

ソフトウェア第一事業本部
ソフトウェア第二事業本部

企業のセキュリティ対策をトータルで支援する
5つの提供サービスカテゴリ

コンサルティング

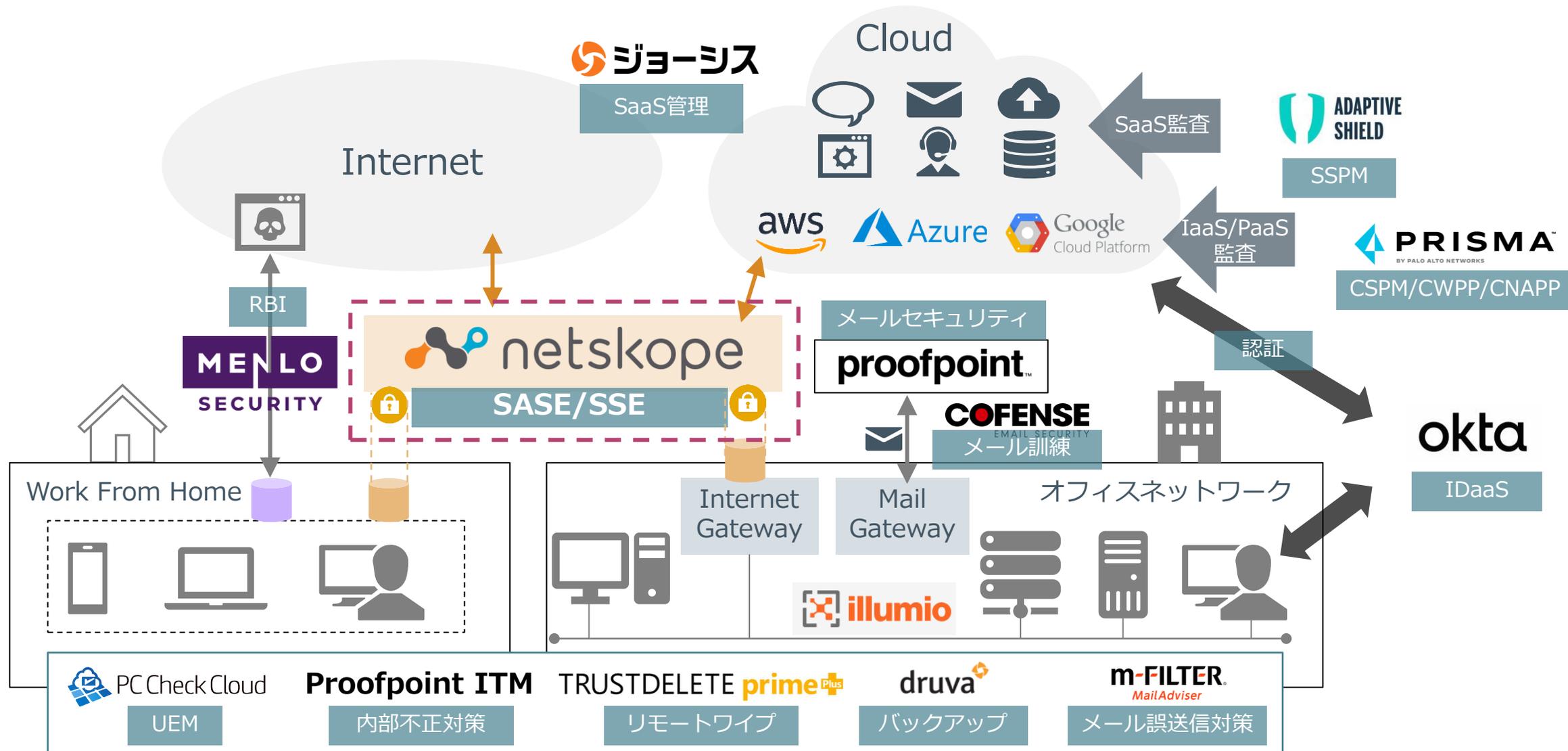
セキュリティ診断

SOC・マネージド
セキュリティサービス

セキュリティ
製品・ソリューション

セキュリティ
教育・研修

1.NRIセキュア会社紹介 ソリューションマップ



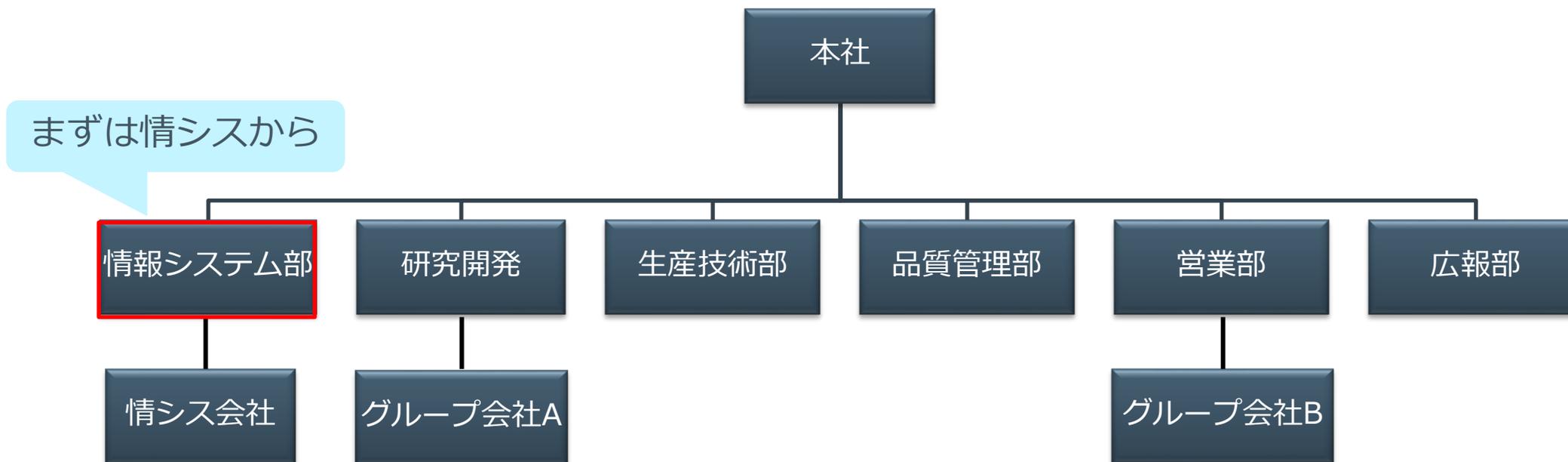
2.セキュリティ製品運用でよく頂くお悩み・ご相談

2.セキュリティ製品運用でよく頂くお悩み・ご相談



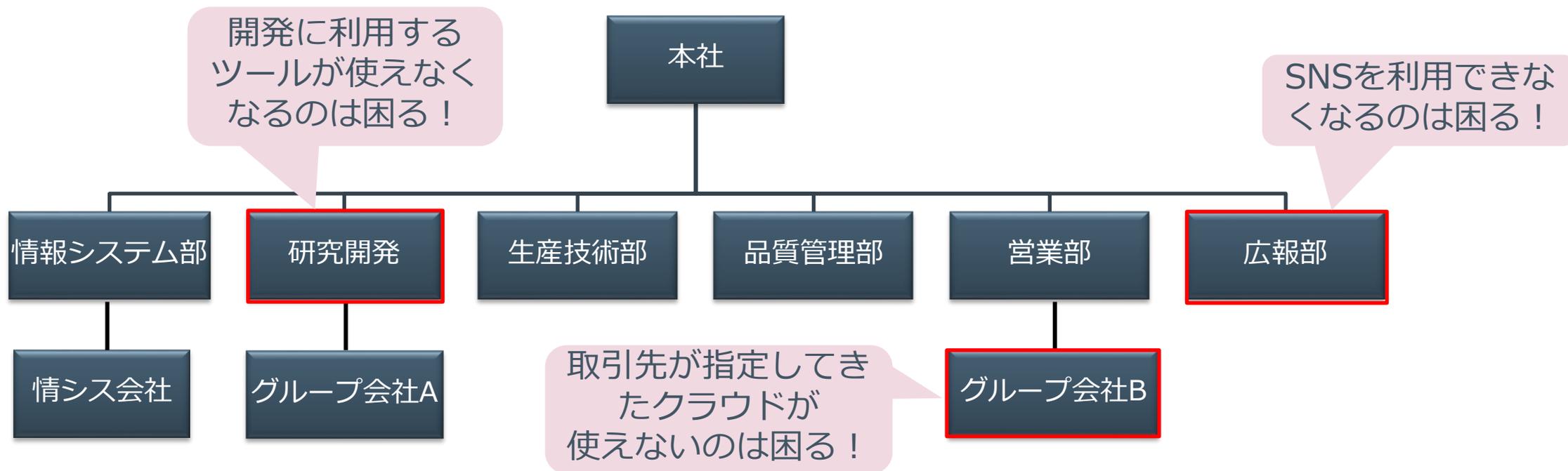
ゼロトラストな環境を実現したいが、情シスからスモールスタートしたい

- ／ グローバル製造業の組織図の例
- ／ 大規模導入は影響範囲も広く、各部署との調整や期間、リソースも必要
- ／ まずはスモールスタートしたいというケースがほとんど



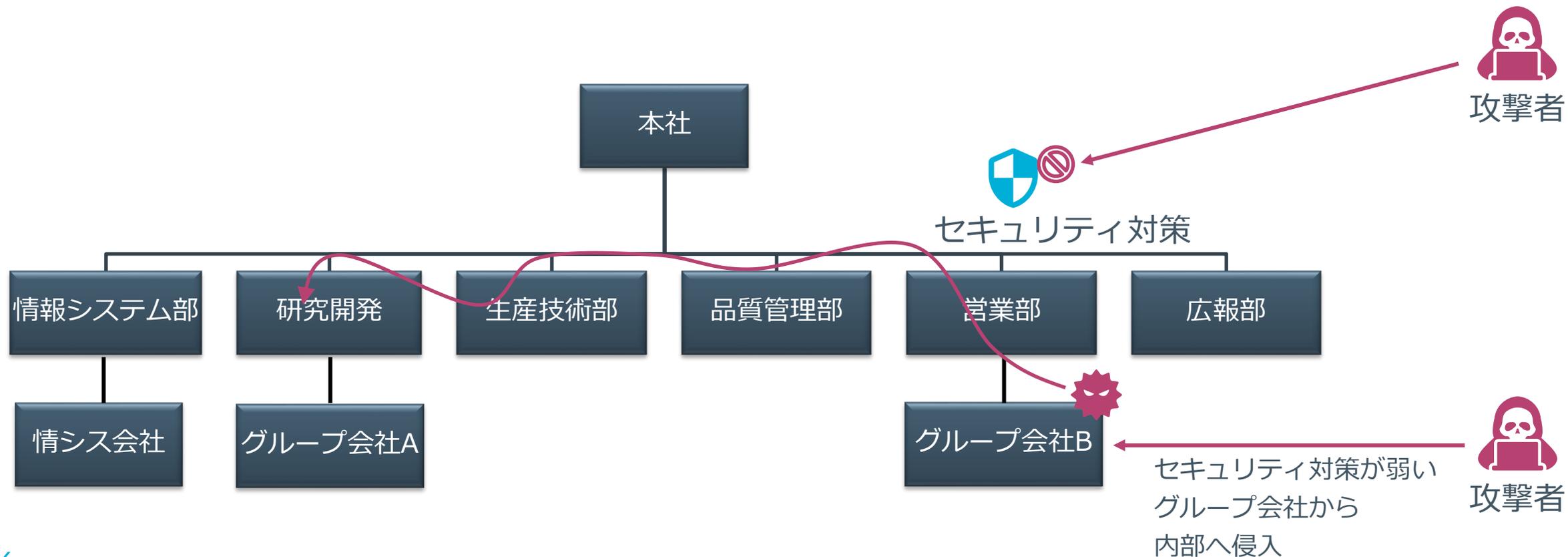
部署や会社毎に個別要件があり、トップダウンでセキュリティを推進できない

- ／ 組織の大小に関わらず、何かしら部署やグループ会社独自の都合があるのが一般的
- ／ セキュリティを強化したいが、業務を止めてしまっは意味がない



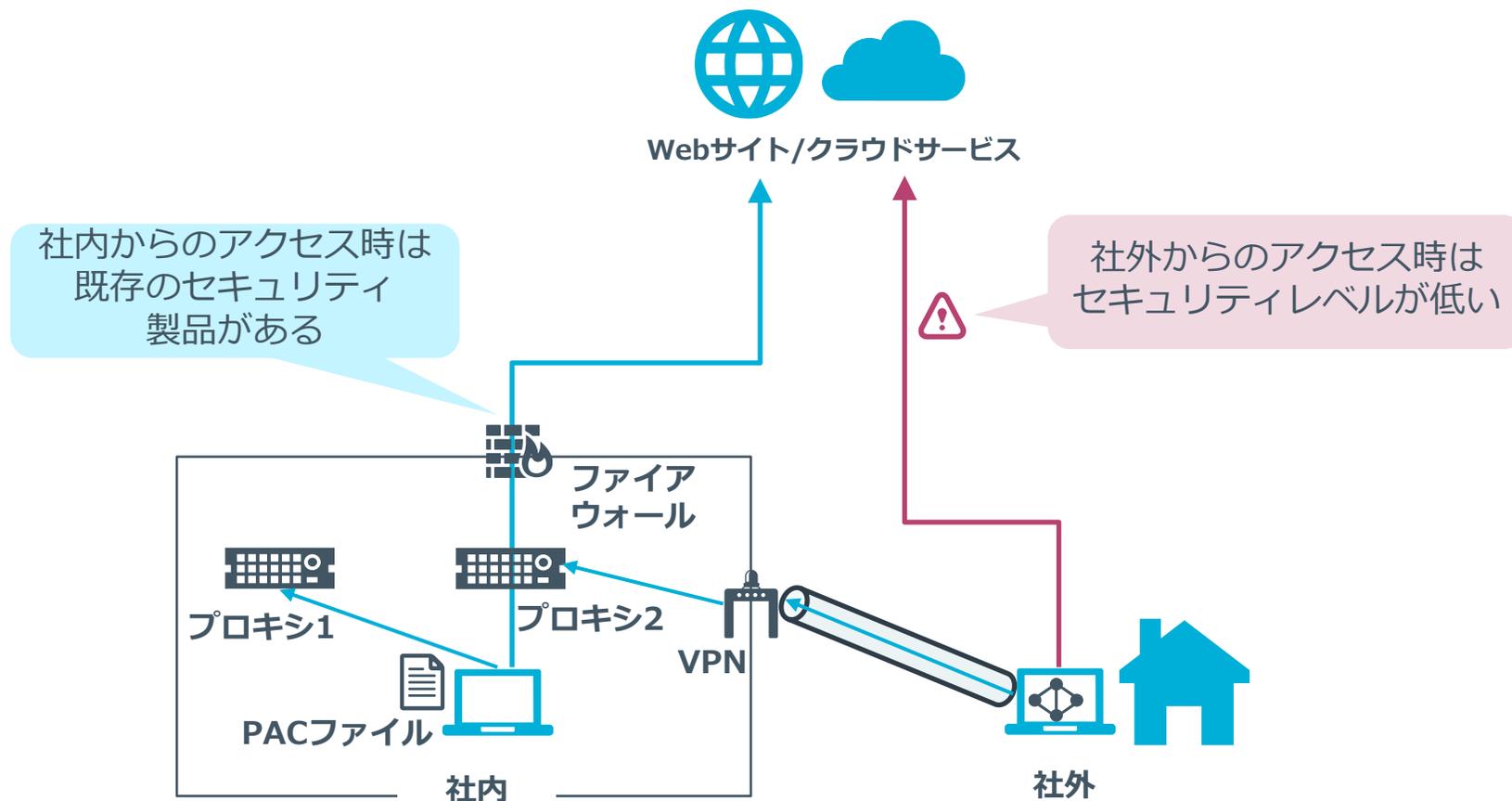
グループ会社も本社と同等のセキュリティ対策を実装したい

- 本社のセキュリティを強化していても、攻撃者は弱いグループ会社を狙い内部から侵入してくる
= ビジネスサプライチェーン攻撃
- グループ会社のセキュリティ管理を本社の情シスで一元管理したいケースと
グループ会社の担当者に委任したいケースがある



ゼロトラストを実現したいが、既存の製品も上手く活用していきたい

- ／ 今まで積み上げてきたセキュリティ資産も無駄にしたくない
- ／ 働く環境によってセキュリティレベルを下げないように上手いこと導入したい



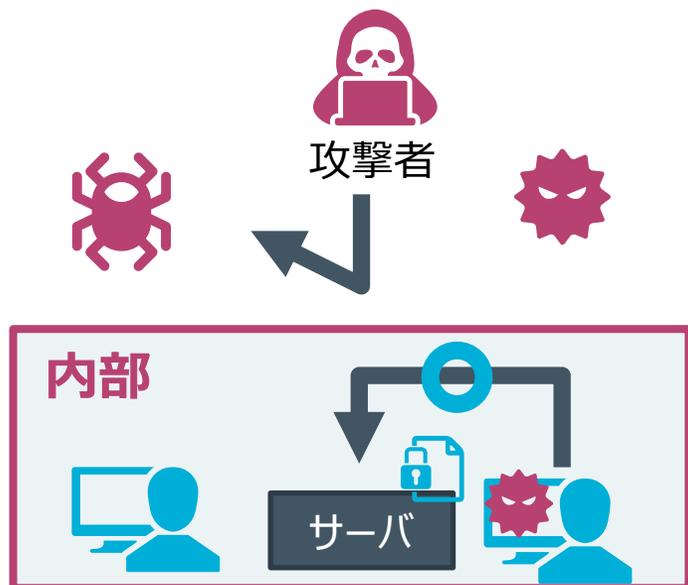
3.SASE製品を選ぶポイント

ここ数年で一気に境界防御からゼロトラストへ移行が進んだ

テレワークやクラウド利用が増え、境界の外にも守るべき情報が存在する時代、どこからであっても信用しない「ゼロトラスト」モデルのIT環境が求められています。

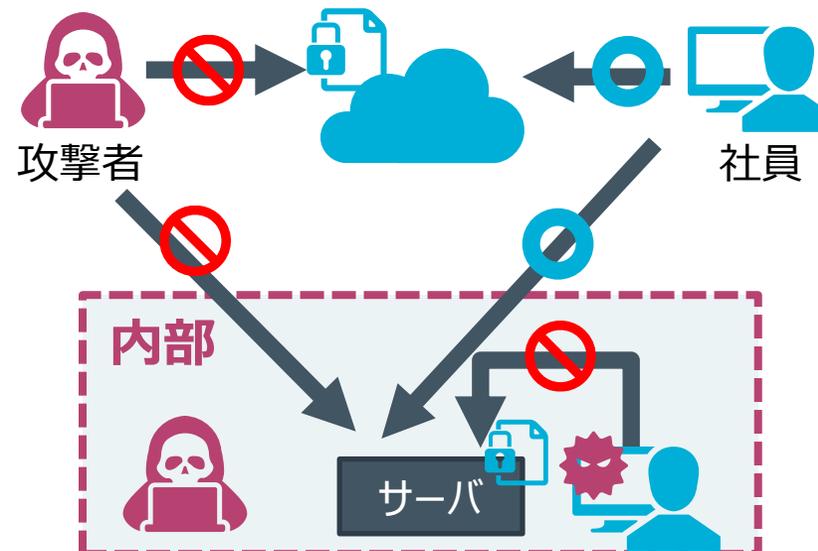
境界防御の環境（従来型）

- ・ 守るべき資産は境界の中
- ・ 守るべき資産は境界内部からアクセスする
- ・ 脅威は外部にある



ゼロトラスト環境

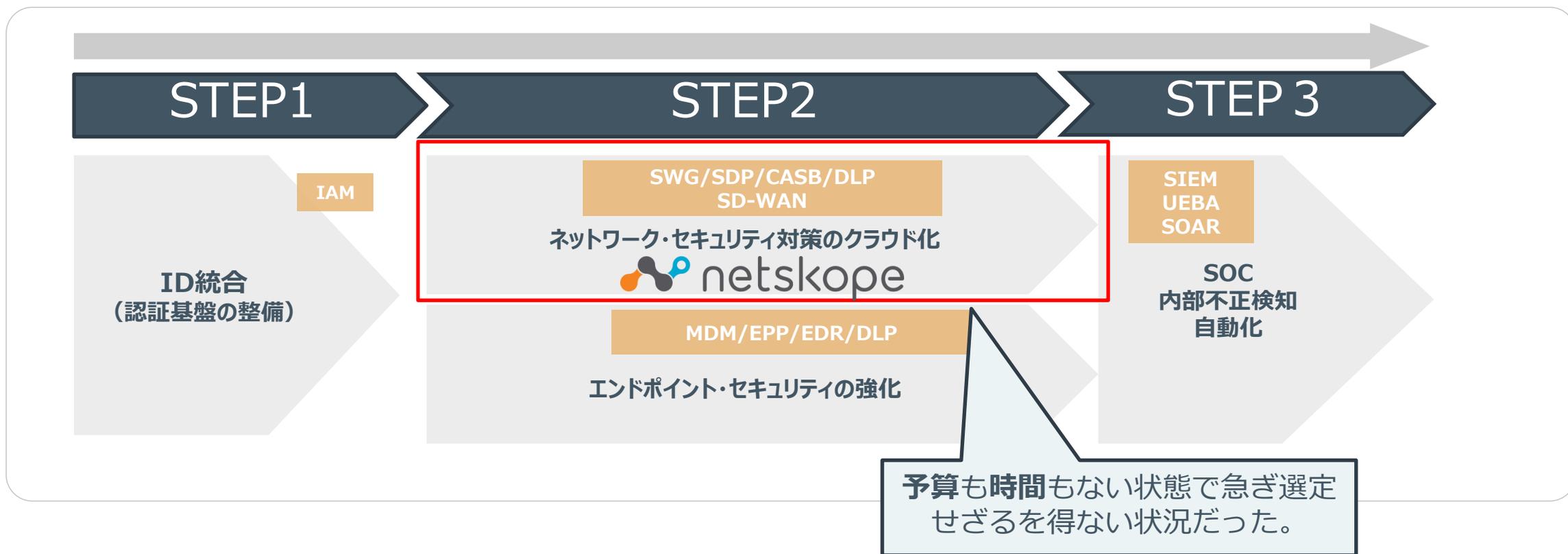
- ・ 守るべき資産は境界の中にも外にもある
- ・ 守るべき資産は境界内部、外部どちらからもアクセスがある
- ・ 脅威は外部だけでなく内部にもある



3.SASE製品を選ぶポイント

急ぎゼロトラスト構成を構築するためにとりあえずSASE製品を導入

新型コロナウイルスの影響により、急ぎテレワーク対応が必要となり、テレワーク環境をゼロトラスト構成で構築するためにSASE製品を**とりあえず導入**した。



導入後に後悔しないための製品選定のポイント

導入した後に期待する効果が得られなかったり、有効活用出来ない事態に陥らないために、選定時にご確認頂きたいポイントをご紹介します。

ポイント①

機能比較ではなく優先事項の整理から

ポイント②

自社での運用可否の検討

ポイント③

既存環境との共存構成の検討

ポイント①：機能比較ではなく優先事項の整理から

機能比較や全製品のPoCを試しては膨大な労力と時間がかかる

機能/製品	A社	B社	C社
SWG	○	○	○
CASB	○	○	○
DLP	○	○	○
AV	○	○	○
...			



機能/製品	A社	B社	C社
SWG	◎	○	△
CASB	△	◎	○
DLP	○	◎	×
AV	○	○	○
...			

DLPに○がついていても...

- ・ 対応している拡張子の種類は？
- ・ 対応している言語は？
- ・ 日本対応のルール数は？
- ・ ZIP解凍は何階層まで？... etc

会社として優先度が高いのは何なのかを明確にする必要があります

ポイント②：自社での運用可否の検討

／ 自社での運用体制/方法も合わせて検討する必要がある

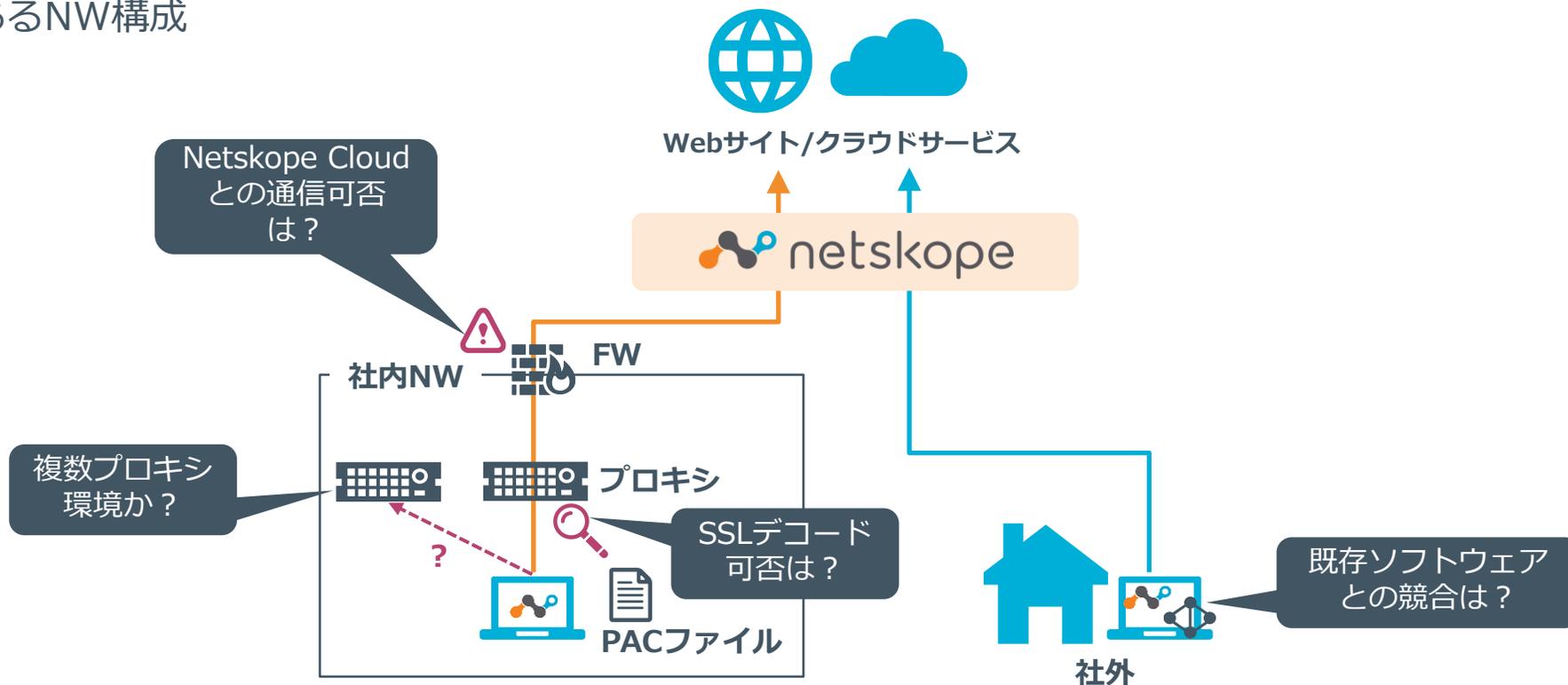
確認するポイントの例	具体的には
管理コンソールの使いやすさ	シンプルなUIや既存ルールの豊富さなど
ログは何日間保存しておくのか	ログを保存できる日数は？ SIEM製品との連携可否など
ユーザが増えた時の対応	ADやIDaaSとの連携可否など
利用クラウドサービスが増えた時の対応	ポリシーチューニングはできるか ユーザや影響を限定した対応はできるか
問い合わせ窓口	不明点を質問できる窓口はあるか
	...

導入して終わりではなく、運用まで考える必要があります

ポイント③：既存環境との共存構成の検討

／ こんなはずじゃなかった！ とならないために、PoC時にお客様環境での動作確認が必要

■ よくあるNW構成



既存環境と上手く共存するためにどうするか考える必要があります

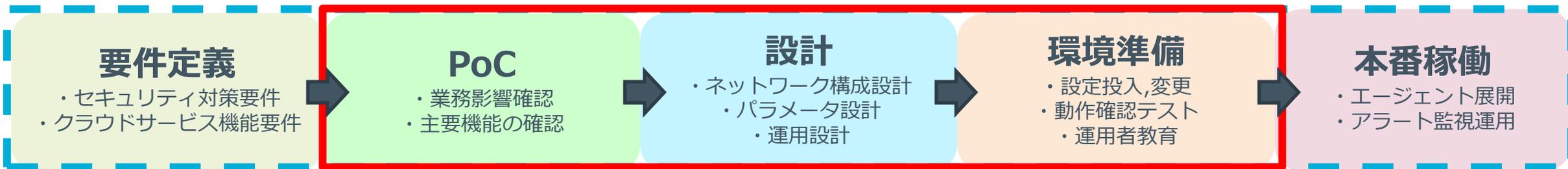
4.弊社支援サービスのご紹介

Netskopeにおける豊富な支援プラン

Netskope導入における一般的なフロー

支援可能な範囲

主な支援範囲



支援メニュー

名称	支援内容の例
PoC支援サービス	技術QA対応、シャドーIT可視化レポート作成、動作確認等。
初期構築支援サービス	クラウド利用時の要件決定支援、ポリシー設計、動作確認、トレーニング等。
構築後支援プラン	Netskope導入後のポリシーチューニング、追加ポリシー設計、アドバイザリ等。
IDaaS連携支援オプション	NetskopeとIDaaSの連携機能に関するご支援。
Netskope Security Cloud 管理サービス (※)	NRIセキュアの高度なアナリストによる運用、監視、分析レポートといったNetskopeのマネージドセキュリティサービス。



/ NRI SECURE /